

第112回 ファジィ学会理事会議事録

日時：平成13年9月6日、 場所： 日本大学（習志野） 12：00－13：30
（第7期第2回理事会）

出席者 廣田、椎塚、高木、鬼沢、戒野、柴田、古橋、山田、横川、山口（記）

欠席者 湯場崎

1．資料にある議題に沿って議事を進める。（資料112 1）

2．事業委員会補助採択結果（資料112 - 1）（柴田理事）

補助金の採択の決定を行った。Web 化などを実施する件など、一部すでに、実施しているものもある。研究会や研究部会など、名称が統一していないようなので、今後統一表現に改める。4や9項目など、委員会による事業は、今後は委員会の予算へ組み入れていく。

法人サービスとして、参加費などのクーポンの導入などを進めていく。国際会議など科学研究費の申請を実施する。（資料112 - 2 - 2、112 - 2 - 3）

3．IFSAなど国際学会の動向（資料112 - 4）（廣田会長）

IFSAなどの国際会議へ、SOFT代表と参加しているが、近年、韓国、台湾などの活動が活発となっている反面、日本における活動の停滞もあり、国際的な日本への評価が低下してしまっている。事前のロビー活動の不足もあるが、昨年までの日本からの国際会議委員2名が一転し、本年度は、会長は韓国より、副会長は台湾よりの参加となっている。

国際会議ISISなど、日本と韓国でジョイントし、第3回を実施する提案が韓国側よりあるが、FSSの18回などと関連づけて、つくばの国際会議を盛り上げていきたい。

4．表彰者の選考（資料112 - 5）（椎塚副会長）

資料に示すように、奨励賞3名と論文賞1名とする。今後、新たな賞の検討やフェロー、さらに、著述賞が出ていない点など、検討を進めていく。

5．法人化会員件（資料112 - 6）（湯場崎副会長、代行廣田会長）

湯場崎副会長欠席のため、廣田会長が代行。資料に示す、いわゆる幽霊会員の整理を行う。これで、法人会員は28社となる。

新規事業として法人会員サービスとして、つくばの学会などで優遇していく件、柴田理事と連携して実施する。同時にメールサービスも実施する。

6．システム関連学会連合の件（資料112 - 9）（古橋理事）

合意事項として、コンセプトを提言し、文部科学省の科学研究費の提言などに結び付けていくことになっている。

7．会計について（山田会計担当理事、資料112 7）

予定にそっており、おおむね健全である。今後、IFSAへの1000ドルの出費、FSSへの準備金150万円などの支出が予定されている。

8．会誌について（資料112-3）（鬼沢編集担当理事）

8月号について投稿が増えつつあり、順調である。

電子化について、著作権の関連でクレームのあった論文以外は、国立情報学研究所の電子化を進めていく。資料に示す覚書を取り交わす。また、使用料金なども不利にならないように注意を払う。電子化に際し、一部、不足している号もあるが、大里先生などと連携し、補っていく。

資料にある、転載申請を許可する。

文系の論文、ソフトウェア応用の特集論の企画など、提案があった。

9．電子メディア（戒野広報メディア担当理事）

電子化をすすめており、各理事、支部長、委員会が直接アクセスするHPとなっていることの報告。